

“新市”施行10周年

第65回

気仙沼みなとまつり

報告書

開催日：平成28年8月6日（土）

8月7日（日）

気仙沼みなとまつり委員会

“新市”施行 10周年
「第65回気仙沼みなとまつり」 骨子

■8月6日（土）

- 初日 陸上行事：田中前大通り会場（交通規制：午後4時00分～午後9時00分）
 - ・「オープニングセレモニー」（午後4時30分～午後5時10分）
 - ・「はまらいんや踊り」（午後5時30分～午後8時00分）田中前地区の大通りを会場として「輪踊り」形式で実施。

■8月7日（日）

- ★昼の部（交通規制：午前10時30分～午後2時30分）
 - 街頭パレード出発式（午前11時00分～午前11時10分）
 - 街頭パレード（午前11時15分～午後2時00分）市役所周辺（三日町、八日町、南町地区内）でコース設定。

- ★夕の部（交通規制：午後4時00分～午後9時30分）

海上行事は、前半が海上うんづらと打ちばやし大競演による迫力の太鼓演技で魅せて、後半のクライマックスとして海上うんづらの運航、打ちばやし大競演、海上打ち上げ花火と盛り上げていく。

- 打ちばやし大競演（午後5時00分～午後8時30分）

気仙沼市内ほかの太鼓団体による「打ちばやし大競演」の実施。
会場については港町臨港道路で設定。

- 海上うんづら 第一部（午後5時00分～午後7時00分ごろまで）

停船演技（港町岸壁への接岸）

第二部（午後7時15分～午後8時30分）

「どや節」披露、内湾での運航演技。

- 海上打ち上げ花火（午後8時00分～午後8時30分）

1. 特 徴

(1) 今年のみなとまつりは、唐桑町と合併10周年を記念して、『“新市”施行10周年』の冠を付け、新市施行を祝う記念の開催になった。サブ・タイトルの「とどけ！！ 海へ 大地へ 大空へ」を意識して、“港のまつり”のイメージを一層強める事を念頭に全体の内容を検討した。

これまでの内容や復興状況を参考に、行事ごとの連携や人の流れ、タイムスケジュールなどにも繋がりを持たせ、まつり全体がより一体となるようなプログラム構成とし、演技する人も見る人もともに「感動・元気」が得られるまつりを企画した。

(2) オープニングセレモニーでは、(一社)気仙沼青年会議所の銀輪太鼓の勇壮な演技から始まり、大会会長である菅原茂市長の挨拶のあと、メッセージや大勢の来賓を紹介した。

アトラクションとして、みなと気仙沼大使である大城バネサさんが力強い歌2曲披露し、第65回気仙沼みなとまつりが開幕した。

(3) 8月6日(土)の「はまらいんや踊り」には、学校の部、サークル・自治会の部、企業の部から64団体、約3,300名が参加し、今年も輪踊り形式で盛大に開催。各参加団体の運行係の協力を頂きながら運行を行ったが、参加人数も増え、会場スペースは限られているので、なかなか順調に輪を進める事ができなかった。次年度以降の課題になると考えられる。

(4) 8月7日(日)は、【昼の部】として街頭パレード出発式からスタート。今年も復興工事の兼ね合いでパレードコースを変更しての開催となった。出発式では来賓紹介、そして今年も気仙沼市民吹奏楽団によるファンファーレの演奏の後、来賓・主催団体長・実行委員会等によるテープカットを行い、街頭パレードがスタートした。

まだまだ震災前の街頭パレードを行う事は出来ないが、「港町気仙沼」ならではの活気と伝統ある演技に大きな拍手がおくられた。

(5)【夕の部】として、「打ちばやし大競演」からスタート。昨年より会場を延ばし、港町臨港道路のほかカメイスタンド様前からみちのく建設工業様前まで会場を広げて実施した。

海上では第八十一豊清丸の「さんま船集魚灯の披露」や（一社）気仙沼青年会議所の「海上うんづら」が勇壮な太鼓に合わせ湾内を周回し、まつりムードは一気に盛り上がりを見せた。

フィナーレを飾る「海上打上げ花火」は、今年も秋田県大仙市の(株)和火屋による打上げで実施。

台船を使用して尺玉やスターマインを打上げ音と光を演出。“新市”施行10周年を祝うスターマインも打上げられ、「打ちばやし大競演」と「さんま船集魚灯披露」・「海上うんづら」・「海上打上げ花火」のそれぞれ迫力あるプログラムの饗宴で閉幕。陸に、海に、空に、港町一体で繰り広げられるまつり行事は、港町“気仙沼”を大いにアピールし、勇壮さを感じさせた“新市”施行10周年を祝うにふさわしい「第65回気仙沼みなとまつり」となった。

(6) 内湾の復興工事の進捗状況や安全面を考慮し、今年は立正佼成会石巻教会気仙沼支部による「大流灯」は見合わせる形となった。



第65回気仙沼みなとまつりポスター

2. まつり行事内容について

<8月6日(土)>

(1) 第65回気仙沼みなとまつりオープニングセレモニー開催

午後4時30分より開催。(一社)気仙沼青年会議所による勇壮な「銀輪太鼓」がオープニングを飾り、つづいて大会会長である菅原茂市長の挨拶、来賓紹介、メッセージ紹介が行われた。今年はアトラクションとして、みなと気仙沼大使である大城バネサさんが力強い歌2曲披露し、オープニングセレモニーを締めくくった。

司会進行は、気仙沼出身のフリーアナウンサーの岩手佳代子さんと気仙沼商工会議所青年部の齋藤徹さんが務めた。

(2) はまらいんや踊り

オープニングセレモニーに引き続き、開始予定時間通り午後5時30分よりはまらいんや踊りが開始した。

はまらいんや踊りには学校の部、サークル・自治会の部、企業の部から64団体、約3,300名の参加のもと今年も輪踊り形式で実施。

バンド演奏は、気仙沼出身のバイソン片山率いる「バイソン片山トリオ」とジャズピアニストの「岡本優子」さんが迫力のある生演奏を披露した。

今年も市内小学生11名による掛け声隊が熱唱し、今では踊りにはなくてはならない存在である。途中休憩を挟みながら、参加団体はそれぞれが趣向を凝らした衣装や踊りを披露、参加者も観客もまつりを堪能し、熱気溢れた「はまらいんや踊り」となった。

(参加64団体、約3,300名)



盛り上った「はまらいんや踊り」

<8月7日(日)>

(3) 街頭パレード

復興工事の兼ね合いで、南町周辺の一部がパレードコースとして使用が難しいため、本年もパレードコースを変更しての開催となった。

パレードコースとしては、南町の一部が使用できないため、コース距離を確保するために気仙沼駅前方面にコースを延伸し、三日町大友病院様をスタートし、気仙沼市役所前、紫市場前経由の(株)気仙沼商会様本社前をゴール地点としたコースを設定した。

午前11時から街頭パレード出発式を三日町大友病院様で開催し、会長、実行委員長、主催団体長、来賓等19名によるテープカットを、気仙沼市民吹奏楽団によるファンファーレの合図で行ない、第65回気仙沼みなとまつり街頭パレードがスタートした。

みなとまつり宣伝隊として一番街芸能社ちんどんパレードを先頭に、山車パレードや踊りパレード、吹奏楽パレード、神輿渡御など趣向を凝らしたパレードを繰り広げ、今年も停止演技場所としてコースの中で見物客の多い気仙沼市役所前と紫市場前の2箇所を設定した。

司会進行は、気仙沼出身のフリーアナウンサーの岩手佳代子さんと(一社)気仙沼青年会議所の廣野一誠さんが務めた。(参加16団体、約850名)

(4) 打ちばやし大競演

市内の和太鼓団体を中心に27団体、約800名の打ち手が約700基余りの太鼓を並べ勇壮な太鼓演奏が披露された。打ちばやし大競演の会場は、昨年より会場を延ばし、港町臨港道路のほかカメイスタンド様前からみちのく建設工業様前まで会場を広げて実施した。

昨年同様、打ちばやし大競演のオープニングを飾るセレモニーを午後5時から実施し、菅沼真澄副市長からご挨拶を頂いたあと、各参加団体、笛、ベースの紹介、そしてしょっきり太鼓の演技のあと午後5時30分に打ちばやし大競演がスタートした。

また、今年も(一社)気仙沼青年会議所の「海上うんづら」や「第八十一豊清丸」のさんま船集魚灯の披露、「海上花火大会」とそれぞれタイムプログラムを組んでの大競演を実施。勇壮で迫力ある「打ちばやし大競演」と一体となった港町・内湾で繰り広げられる気仙沼にしかない“音”と“光”の饗宴に、湾内を埋めた観客からは大きな歓声が湧き上がっていた。今では、市民に定着されているのが実感できた。

(参加27団体、約800名)

(5) 『海上うんづら』

(一社) 気仙沼青年会議所の「海上うんづら」はみなとまつりの海上行事として大きな存在。

第1部は港町岸壁に停船しての「停船演技」を午後5時から、第2部は港町・内湾を周回しながら演技をする「運航演技」を午後7時15分からの2部構成で実施。

第1部の「停船演技」では、今年も子供たちを乗船させての太鼓演技の披露を行い、第2部の「運航演技」では、これまでは「どや節」を唄いながら「海上うんづら」が岸壁に入港してくる際に、陸で打ちばやし参加団体が受けする演出だったが、今年はステージ上で(一社) 気仙沼青年会議所の理事長、直前理事長が「どや節」を唄い、その脇で打ちばやしの参加団体が受けをする演出に変えて実施した。

(一社) 気仙沼青年会議所メンバーによる「海上うんづら」と勇壮な「打ちばやし演技」は、港町の若者らしく、そして“港町・気仙沼”のまつりに相応しい大迫力で観客を魅了した。

(6) 『海上打上げ花火』

午後8時から、まつりのフィナーレを飾る「海上打上げ花火」が開始。今年も秋田県大仙市の(株)和火屋の花火師が気仙沼の夜空を彩る華麗な花火を打上げた。

海上打上げ花火は、オープニングスターマインで開幕。4号玉、5号玉、7号玉、8号玉 10号玉(尺玉)の連発打上げと、色と光の美しいワイドスターマインなどを織り交ぜ、約2,400発を打ち上げ。

フィナーレを締めくくったのは、まつり一色の気仙沼の夜空をキャンパスに“新市”施行10周年を祝い、数字の「10」を描く花火やスターマインを織り交ぜた「メモリアルスターマイン」が豪華絢爛に打上げられ観客を魅了した。

打ちばやし大競演、海上うんづらとのコラボレーションも申し分ないものとなり、気仙沼らしい、まさにフィナーレを飾る開催内容となった。



迫力ある(一社) 気仙沼青年会議所の「海上うんづら」

3. 協賛行事などについて

(1) POKEMON with YOU キャラバン2016

ポケモンを通じ、子供たちが集い、自然にコミュニケーションが生まれる環境を創り出すことを目的に、福幸小町田中通り駐車場と八木自動車整備工場(株)駐車場を会場として午後2時から午後8時まで開催された。

ポケモンステージやポケモングッズの特設販売スペースやポケモンとの記念写真撮影など、小さな子供たちや家族連れの観客で賑わいを見せていた。

(2) 南町紫市場 “16夏まつり

8月6日(土)、7日(日)の2日間、南町紫市場を会場に特設ステージでのライブやお楽しみ抽選会などが行われた他、街頭パレードの停止演技の受け入れや太鼓演奏、子供みこしや縁日などが開催された。

(3) 出店

8月6日(土)、7日(日)ともに、昨年同様みなとまつり委員会としての出店場所の確保と調整は行わず、事業者による自主出店の形式を取る事となった。観客からは早く震災前のような出店が並ぶ要望の声があがってきている。

4. 人 出

まつり当日の人出は、今年も天候にも恵まれ、8月6日(土)が33,000人(昨年31,000人)・7日(日)が43,000人(昨年41,000人)となり、2日間合計では76,000人(昨年72,000人：昨年比4,000人増)となった。

5. 天 候

◇ 8月6日(土)

まつり開催前の1週間ほどは連日30度を越える日が続き、6日(土)は最高気温33.4度とまつり当日も真夏日を観測。

暑い中でのほまらいんや踊りの開催と思われたが、始まる頃には気温も下がり、初日の行事を無事終了する事ができた。(最高気温33.4度)

◇ 8月7日（日）

2日目も真夏日を観測し、日中の最高気温は31.3度。前日に比べると暑さは若干やわらいたが、昼の部の街頭パレードは日差しの厳しい時間帯であった事から多くの観客が建物の日陰からまつりを見物する姿が多く見られた。打ちばやし大競演などの港町会場の周辺では、時折海風が吹き抜け爽やかさが感じられた。

朝から晴天にめぐまれ、街頭パレード出発式が始まる正午前には、夏空が広がり気温も高くなり、日差しが照りつけ、夏祭りにふさわしい暑さの中での開催となった。
(最高気温 31.3度)

6. シャトルバスほか交通機関の臨時便について

■シャトルバス

気仙沼市内バス会社3社に依頼し、8月6日（土）は6コース、7日（日）は7コースを運行した。

◎8月6日（土）

①向洋高校コース

気仙沼向洋高校前 ⇔ 気仙沼市立病院前 (利用者 延べ112人)

②松岩小学校コース

松岩小学校前 ⇔ 南郷 (利用者 延べ165人)

③西高校コース

気仙沼西高校前 ⇔ 反松公園 (利用者 延べ125人)

④鹿折小学校コース

鹿折小学校前 ⇔ 上田中一丁目 (利用者 延べ114人)

⑤千厩・室根コース

千厩駅前 ⇔ 市立病院入口 (利用者 延べ 31人)

⑥唐桑・小原木コース

中井小学校前 ⇔ 南郷※旧警察署前 (利用者 延べ 17人)

◎8月7日(日)

①向洋高校コース

気仙沼向洋高校前 ⇔ 化粧坂(昼)、海の市前(夕) (利用者 延べ110人)

②松岩小学校コース

松岩小学校 ⇔ 化粧坂(昼)、海の市前(夕) (利用者 延べ169人)

③西高校コース

気仙沼西高校前 ⇔ 化粧坂(昼)、海の市前(夕) (利用者 延べ108人)

④条南中コース

粋活街西口(パーラーライオン前) ⇔ 化粧坂(昼)、海の市前(夕)
(利用者 延べ251人)

⑤鹿折小コース

鹿折小学校 ⇔ 魚町一丁目 (利用者 延べ114人)

⑥千厩・室根コース

千厩駅前 ⇔ 魚町一丁目 (利用者 延べ31人)

⑦唐桑・小原木コース

中井小学校前 ⇔ 魚町一丁目 (利用者 延べ17人)

■JR 気仙沼線 BRT

8月6日(土)、7日(日)の両日、気仙沼駅発⇔本吉駅行の臨時便の運行を頂いた。

◎8月6日(土) / 20:32 発 利用者 48人

◎8月7日(日) / 21:32 発 利用者 85人

■大島汽船

8月7日(日)にエースポート発⇔浦の浜行の臨時汽船2船の運行を頂いた。

◎8月7日(日) / 21:00 発 利用者192人 21:30 発 利用者41人

7. 出 動（2日間の延べ人数・カッコ内は昨年実績）

気仙沼警察署	187人（216人）
気仙沼市交通指導隊	62人（66人）
気仙沼市防犯実働隊	107人（107人）
気仙沼海上保安署	11人（14人）
気仙沼消防署（消防本部含む）	47人（45人）
気仙沼消防団	116人（22人）
気仙沼市役所	280人（290人）
気仙沼市青少年支援センター	18人（18人）
（公社）気仙沼シルバー人材センター	20人（16人）
自主警備臨時職員	24人（22人）
警備艇	12人（10人）
警備部会・警備会社	56人（48人）
気仙沼商工会議所	48人（53人）
気仙沼復興協会	14人（16人）
早稲田大学学生ボランティア	60人（70人）
合 計	1,062人（1,013人）

8. 警備・交通規制

交通規制区域は、8月6日（土）は昨年同様、午後4時から午後9時までの間、田中前大通りのモスバーガー付近交差点から朝日生命交差点付近を車両進入禁止とし、一本北側の市道を東行き、一本南側を西行きの一方通行道路として設定し、交通混雑の緩和に努めた。

8月7日（日）は、復興工事の兼ね合いでパレードコースの変更を余儀なくされ気仙沼駅方向へ延伸したため、午前10時30分から午後2時30分の間、新町の小山クリーニング前から新町の一部、三日町のキングスタウン前から市役所前を経て旧南町交番跡地付近交差点前までの区間を車両進入禁止と変更し、街頭パレードを実施した。打ちばやし大競演の会場となる港町付近は、午後4時から午後9時までの間、臨港道路のうち、港町ローソン付近からお魚市場付近までを車両進入禁止にした他、今年は車両と人との交差を避けるため、サンマリン気仙沼ホテル観洋下からみちのく建設までの裏道全てを車両進入禁止とした。また、昨年まで車両進入禁止としていた坂口交差点入口から旧エースポート前付近までの道路は、昨年見物人や車両の通行が少なかったことから今年は交通規制をかけなかった。

魚町の岸壁については、海中転落などの危険を防止するためバリケードを設置するほか、救命用浮き輪やハシゴを設置し、同様に打ちばやし会場にもバリケードを設置した。また、内湾付近の海上には万が一の転落などに備え警備艇も配置した。

まつり会場の警備については、まつり委員会の警備計画のほかに、ボランティアなど独自の人員を配置し警備にあたった。

9. 事 故（カッコ内は昨年の数字）

まつり期間中に会場付近で発生した事故等の件数は以下の通り。

- ・人身事故 0件
- ・物損事故 0件
- ・けが人 0件。
- ・遺失 20件
- ・拾得物 43件
- ・迷子 1件
- ・少年補導 16件
- ・酔っ払い保護 2件
- ・傷病人 1件。

気仙沼警察署や気仙沼海上保安署、気仙沼消防署ほか警備に携って頂いた各団体の協力に感謝を申し上げます。

10. 清 掃（カッコ内は昨年の数字）

まつり会場内にエコステーションを設置し、今年も学生ボランティアの呼びかけにより、来場者には分別の徹底やゴミの持ち帰りにご協力を頂いた。
会場周辺の清掃は8月7日（日）早朝に田中前大通り周辺地区を、8月8日（月）早朝に八日町・南町・内湾地区及び南町地区を下記の団体のご協力を頂き実施した。

早朝清掃協力者

（公社）気仙沼シルバー人材センター、市民憲章推進協議会気仙沼地区部会、気仙沼海友会、全国海友婦人会気仙沼支部、気仙沼市婦人連絡協議会、清港会、
（株）気仙沼商会、（株）小野良組、気仙沼市役所、気仙沼商工会議所

田中前地区や南町地区などまつり会場付近では、近隣にお住まいの方々や事業所の方々が定期的に清掃や草刈などを行っており、ゴミや雑草のないきれいな状態でまつりが実施でき、関係の皆様感謝を申し上げます。